



私たち「大村市女性消防団」は、結成して15周年を迎えました。
 今後も地域の安全を守るため、消防団活動に取り組んでいきます。



式典運営の補助



高齢者宅を防火訪問



放水訓練・大会



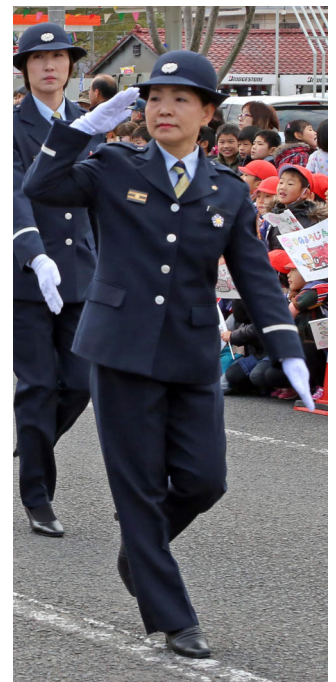
防火啓発活動



応急手当の講習

こんなところで女性の力を発揮しています

大村市 The 15th Anniversary 女性消防団



感謝の心を忘れずに

仕事・家事・育児の三つどもえの中でも、月2回の定例会への出席率は常に80%以上！これもひとえに、応援してくれている家族、そして、関係者の皆さまのご指導のたまものです。これからもますます資質を磨き、絆を強化しながら、20周年を目指し、飛躍し続ける女性消防団でありたいと願います。

女性消防団部長 吉村克子

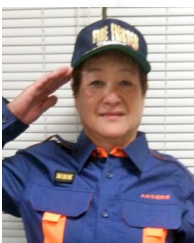
祝！15周年

平成11年8月に発足し、現在、21人が在団している大村市女性消防団。消防団活動の中で、主にソフト面を担っていますが、今や、県内20か所ある女性消防団の中で最高の「団結力」で活動を続けていくことは、誇りに思います。更なる活躍にエールを送ります。

大村市消防団長 田中芳幸

勤続15年表彰された団員から一言

入団当初、挙式を控えた娘、受験生の息子に少々犠牲を…。でも、二人とも今では立派な親に。この15年、何よりも支えてくれた家族に感謝！



正林登志恵 班長
(平成11年11月入団)

幼い息子を連れての消防団活動も度々。その息子も高校生に。この15年で良き仲間ができ、たくさんの防災に関する知識を学べたことは、私の誇りです。



福井由美子 班長
(平成11年12月入団)

未知の世界に入っはや15年。今では、仕事・家庭・消防団の日々。常に応援してくれている家族、団のみんなのおかげです。ありがとうございます！



平野幸恵 団員
(平成11年8月入団)

新入団員の紹介



第1分団 小川 哲央さん

私は、市内で飲食店を営んでいます。開店して1年が過ぎ、日頃からお世話になっている地域の皆さんに恩返ししたいと考え、消防団に入団しました。それから1年、消防車の手入れや他分団との合同訓練、消防車運転講習など、厳しい中にも、新たな仲間との絆ができ、楽しくいろんな経験をさせていただいています。まだまだ未熟ですが、今後も訓練を重ね、出動時にはすぐ対応できるよう励みます。

消防団の主な活動と現状

火災時の消火活動はもちろん、地震や風水害などの大規模災害時には、避難誘導、救助活動、警戒巡視などの任務に当たります。平常時には消火・防火・水防訓練や防災啓発活動などを行っています。

地域防災の要として活動する消防団ですが、少子高齢化や生活形態の多様化などにより、近年は団員数の減少と高齢化が問題となっています。

団員の構成と入団要件

現在、市内15個分団の団員数は、男性617人、女性21人の合計638人です。年齢構成は、20～30代が54%、40～50代が44%、60代以上が2%となっています。

また、入団要件は、市内にお住まいの18歳以上の健康な人です。

一年間の主な活動内容

【春】 春季合同訓練、緊急車両法規実施訓練、山岳レスキューネットワーク訓練

【夏】 水防訓練、夏季特別教養訓練、県ポンプ操法大会(隔年)

【秋】 放水競技大会、市総合防災訓練(隔年)

【冬】 歳末特別警戒、消防出初式

男女消防団員募集中!

消防団では随時、新入団員を募集しています。みんなのまを愛する、あなたの力を求めています。

入団したい人や興味がある人は、ご連絡ください。

■問い合わせ

安全対策課(内線217)

消防団

◎3月1日(日)～7日(土)

春季全国火災予防運動を実施します

火災が発生しやすい時季です。日ごろから、「火の用心」に心掛け、火災を予防しましょう。

統一標語

もういいかい 火を消すまでは まあだだよ

住宅防火 いのちを守る7つのポイント

3つの習慣

- ・寝たばこは絶対やめる
- ・ストーブの近くに、燃えやすいものを置かない
- ・ガスコンロを離れるときは、必ず火を消す

4つの対策

- ・住宅用火災警報器を設置する
- ・寝具やカーテンなどは防災品を使用する
- ・住宅用消火器などを設置する
- ・隣近所の協力体制をつくる

サイレンを鳴らします

期間中、午後8時を「火の元点検の時間」と定め、30秒間サイレンを鳴らします。

◎住宅用火災警報器を必ず設置しましょう

全ての家庭で住宅用火災警報器の設置が義務付けられています。火災を早期に発見し大切な家族や財産を守りましょう。

◎市内の火災発生状況(平成26年)

火災発生件数	29件(-13)
うち建物	21件(+2)
車両	1件(-7)
その他	7件(-8)
死者数	0人(-1)
負傷者数	7人(+4)

※()内は対前年比

■安全対策課(内線217)

地域の安全を守る